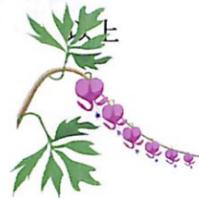


## 婦人会だより

<4月9日(日) 35名出席>

1. 委員会報告
2. テント購入について  
バザー等近隣の町内会より借用していた為、壮年会・婦人会で負担して購入することにつき審議した。賛成多数で五万円拠出。
3. 催し
  - 1) カトリック婦人同志会遠足
    - ◆日 時: 5月25日(木)
    - ◆行 先: 沼津御用邸公園
    - ◆参加費: 5,000円
  - 2) 日本カトリック女性団体連盟東京大会
    - ◆日 時: 6月13日(火)・14日(水)
    - ◆場 所: 東京カテドラル教会聖マリア大聖堂
    - ◆費 用: 2日間で3,000円・大会後パーティー参加者は別途3,000円
    - ◆参加希望者は阿部まで連絡願います。
4. バザー用の小物についてアイデアがありましたら是非教えて下さい。
5. 青柳さんが帰国されました。  
連絡網 富田さんの次になります。地区はC地区です。TEL 801-7409
6. 森脇さんの電話番号が変更になりました。  
TEL 814-0917
7. 転出 丸橋さん(B地区)戸塚教会へ転出  
次回の例会は5月21日 当番はA地区です。



### 婦人会春の遠足

日時 5月24日(水)  
 集合時間 午前9時 中和田教会集合  
 時間に遅れないでね  
 行先 真鶴「中川一政美術館」  
 参加費 5,000円(昼食代含む)  
 参加費は5月21日(日)迄に位田さんまでお支払い願います。  
 持ち物 タオル(昼食後お風呂に入れます)

#### 《スケジュール》

教会 ⇒ 中川美術館 ⇒ 鯛納屋 ⇒ 入浴  
 9:00 11:00 12:00 (希望者のみ)  
 (昼食)  
 ⇒ 出発 ⇒ 教会  
 15:00 17:00



## お知らせ

- ・転入 ヴェンチェスラオ 平瀬 晃 さん 泉区和泉町4797-1 Tel. 801-7995
- ・転出 ヨハネ 石川 元 さん 埼玉県新座市大和田1-13-2-302 Tel. (092) 592-1448
- セシリア 山口 理恵 さん 栃木県真岡市大谷台町44-2 東真荘304
- マンジェラ 麻奈 さん
- ベルナルド 一樹 さん
- ピオ 下山 肇 さん 横浜市神奈川区鳥越 6-5-102
- 千春 さん
- マリア・グラツィア 小宮山 延子 さん 〒158 東京都世田谷区奥沢 1-29-11 島マンション 303号
- マリア 怜子 さん Tel. (092) 592-1448
- パウロ 鉄舟 さん
- ・アンケート 青少年対策アンケートはなるべく教会に用意した回収箱に入れて下さい。  
(切手は未使用のまま一緒に箱にお入れ下さい。)

### ミサ 当番表 (5、6月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	備考
5/7	復活節第四主日	滝 川	大 宮	6/4	聖霊降臨の主日	井 上	大 宮	壮年会
5/14	復活節第五主日	青 年 会	岩 渕	6/11	三位一体の主日	青 年 会	岩 渕	青年会
5/21	復活節第六主日	婦人会 A地区	石 川	6/18	キリストの聖体	婦人会 B地区	石 川	婦人会
5/28	主の昇天	石 井	森 田	6/25	年間第十二主日	位 田	森 田	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)

## 今月の予定

委員会 5月7日  
 日本鉄道カトリックの会 26~28日  
 主の昇天 5月28日  
 サロン 5月14日、28日  
 レジオ 5月12、19、26日



## 第203回

カトリック中和田教会  
 広報委員会発行  
 泉区 中田町 2701  
 Tel. (045) 803-6141  
 1995年 5月7日



## あ わ せ 鏡 ②

山崎 正俊

若かったせいか、あまりにも厳しい掟について話しを聞かされ、これはとても守りきれないと思ひ、行くことを止めた。そのキリスト教会に息子が行き来していることは知っていたが、大学を卒業する頃になると、神学校に入りたいそして神父になりたいと云いはじめた。びっくりして、おまえのような奴にやり貫ける筈がないときめつけても、行かせるだけでも行かせてみてほしいとやり込められてしまったと、父は述懐した。母からも、そんなものになってもらいたくて、生みそだてたつもりはないと、一度は反対されはした。

司祭叙階式での挨拶のなかで、息子がそう云ったものだから、何を話すのかと思った。それでもお父さんのほうは、声を張り上げた涙声の感謝の言葉を、息子の云った事をそのまま認めて、これからはよろしく願いますなどと、その奥さんを傍らに、人のよさを隠そうともしない。私の思いは自分のあの頃のことと、二重写しになってしまった。

両親の受洗のことなどは思いもよらないことであつた。飲めもしないはずの晩酌を父はしばらくの間、続けられたそう。母からはそのことを、手紙で知らされた。そのような外国の宗教の学校よりは、国学院になら行っても文句は云わないなどと、父は私にささやかれたこともあつた。私の心は何んにも受け付けなかつた。まあ、しかたがあるまい。やってみろという手紙を見て、それが喜び

のもとになったのだが、二十三歳。それから、もう一度の戦争に行ったり、帰って来たら、落第も常習のこととなり、司教館で様子を見られたりもして、多くの軽蔑と同情と祈りに支えられながらの神様のミセツリ(なりゆき)のまま、不安のうちに、それに耐えての年月が過ぎてゆくということになった。

叙階式には、何も知らない妹と、弟の嫁と幼児ヒロ坊が来た。洗礼を授けてくださった神父様(「はやく、ハゲを覆え。ハゲを」と云いながら、私の前にヒザマヅイている)の小さな写真と、ロス司教様の手紙が残っているだけ。父の「わしの息子は、カトリックの神父になったぞ」というコトバが聞こえ、母から、佛教で云うところの「出家した」という悲壮な思い込みが伝わって来た。(他のことは省略させていただく).....

このたびの叙階式では、何んとなく喜ばしい門出だと私にだけは憶えられたが、私の時には、なんとなく異なった表現があつた。――戦後のドサクサと、気弱そうな見せかけに助けられたと云われ、「残酷な祝辞」と或る神父様には感じられたらしい司教様の言葉が、私への思いやりをふやしたのかもしれない。その隣にいた私には何故か、神様のおはからいだろう、一言半句も聞こえなかつた。私にとっては有難くも仕合わせなコトバか。



## "なるほど"

七浦 鑑吉

或る新聞のコラムを読んで"なるほど"と思い自分の身边を見つめ直したことがある。

話しは雪国での昔の先生と子供の姿である。学校へ通う子どもたちが遅刻しそうで焦って歩いている。昔なら自転車で通う教師は遅れそうな子をきつくしからなかった。本人も息が切れていたから「おう、がんばれ。早く行こう。」とはあはあ言いながら声をかけた。昨今、自動車に通う先生たちは吐く息が白くなることもない。山道を走行しても息も切れない。互いの体の様子を感じることもなく、子供達を追い越している。自動車通勤が悪いわけでは全くないが、自転車の時代とは様子が違うという話しであった。

世の中が便利になる。その便利さに慣れて本人はそれによって失われるものがあると云うことに気がつかない。当節はワープロを使えば短い時間で驚くほどのプリントが出来る。謄写版時代の比ではない。実は子どもに課せられるプリントが多いのに驚いている。しかし子供がじっくりかみくだいて消化できる量には限りがある。消化できなければいくら詰めこまれてもそれは何の栄養にもならない。「先生が子どもの状態や心情を推し量ることができる機械化の限界はガリ版と自転車までだと思います。」とあった。

この文を読み終わったとき、"なるほど"機械は省力と時間節約のためにある。機械化され楽になった分の時間は確かに増えてはいるであろう。しかし私には以前と比べて逆に時間は短く感じられてならない。生活は豊かにはなった。それは物の豊かさであり便利さであり楽になったことではあるが、今はそれらのもののがんじがらめに縛られて一番大切な心の豊かさと言うものを見失っているのではないかと痛感する。会話であれ思いやりであれゆとりであれ、人間らしくあるべき本質を機械化という現代の歯車に踏みつぶされて大切なものを見失うことは悲しい。

### 余話

### 国産ビール事始め(1)

萩原 政弘

季節を問わず、場所を問わず、いまや日本中で愛されている飲物ビール。ビールをもっとおいしく飲むために、日本におけるビールの歴史を調べてみました。

明治九年の長崎の「ライジングサン・アンド・長崎エクスプレス」によると、バスビールの価格はクオート瓶10.5ドル、ポイント瓶13.5ドルとなっています。クオート瓶は1.14リットル、ポイント瓶はその半量で、クオート瓶は一函四十八本、ポイント瓶は九十六本が単位ですから、一本の値段はクオート瓶で22セント弱、ポイント瓶で14セントくらいということになります。これは卸値段ですが、イギリスやアメリカの値段に比べて大分高かったようです。当時は蒸気船が発達しつつあった時代ですから、運賃が高くついたのでしょう。ビールは容量が大きく、ガラス瓶などの重量もかかりますから、これを麦芽とホップを輸入して日本で作れば安くできることは当然です。低温発酵のビールを作るとなると、冷凍機が氷を使わなければなりません、室温で発酵する高温発酵ビールなら、簡単な設備で作れます。そこで、横浜の居留外国人の中には、自家醸造のビールを作る人が出てきました。

その中でも、ポーランド系アメリカ人のウィリアム・コブランドは、ウィーガンドと組んで、横浜の大沼にスプリングバレー醸造所を開設し、ビール醸造を始めました。十三年頃ウィーガンドと別れて独力

でビール醸造を続けましたが、十八年には破産してこの工場を手放しています。そこで三菱の顧問であったグラバー他数名の外国人が、香港法人のジャパン・プリュワリー・リミテッドを設立します。

日本人でもビール醸造を始める人が出てきました。明治七年には神奈川県令から大蔵卿にビール醸造出願の者がいるが、税金の扱いをどうするかという問い合わせがあります。これはコブランドのこととも考えられますが、「麒麟麦酒株式会社五十年史」の説では、当時外国人の営業免許や課税は各国領事の所管で、神奈川県令の管轄外であるから、これは本牧の保坂某という企業家が提出したものだろとうっています。この保坂ビールについては、翌八年の横浜毎日新聞で報道されています。その前年の明治六年には、甲府で野口正章が野口ビールを発売しています。彼は一年間、横浜在留の外人でビール醸造をする者を招聘して醸造を修得したといいますが、この外人はコブランドだったようです。また、大蔵省勸農寮でも海外に伝修生を派遣して、農産加工業を修得させようという計画が立てられましたが、この中にビールが入っていますから、この時期になるとビールの飲用者が例外の珍し物好きだけでなく、その将来性が注目される商品になっていたのでしょう。この計画は中断されましたが、その数年後に北海道開拓使のビール醸造事業に引継がれることとなります。

(次回につづく)

朝まだき露台に立てば濃きもやの

中より鳥のさえずりしげし

(ヴェネツィアの宿にて)

膝つきて登る聖なるまぎはし

まのみ苦しみに比ぶべくなし

(聖なる階段)

み使いの声かともまどうボーイソプラノの

歌にわが魂うつつと抜け出づ

(列福式にあづかって)

はるばると来つるものかなヴァチカンの

場に立てるを夢かと思ふ

異国の土ふみてより友等みる

ローマの休日せんなど華やぐ

丸田 綾子

### 巡礼雑詠



### 委員会だより

<4月2日(日) 11名出席>

[1] 財務報告:  
3月度決算報告 → 委員会了承。

[2] お知らせコーナー:

- (1) 3/26大和教会で、林大樹師の叙階式。山崎神父様以下10名出席。
- (2) 4/29に戸部教会で、本柳孝司師の叙階式予定。小谷、甲斐両氏が出席予定。
- (3) 4/12宮下神父様の卒寿の祝い。婦人会有志の方々が御殿場を訪問予定。
- (4) 2/19壮年会で、テント寄贈が承認された。婦人会でも承認頂く様、要請あり。
- (5) 延び延びになっているクリスマス飾り付け購入の件、石井、小山両委員にお願いすることに決定。(花坂副委員長打ち合せする)
- (6) 5/3に二俣川教会の献堂式が挙行される。(中和教会のお聖堂を使うのは4/9迄) 4/10迄に出席者の回答が必要。

[3] お話し合いコーナー:

- (1) 旧集会室及び事務室のレイアウトの件: 検討継続するが、現応接室を事務室にする方向。尚、この件に関連して、電話機の移設並びにワイヤレス化についても、見積りなど検討をスタートする。(ついでに、ガス配管、湯沸器など全部調べる(清水委員長))
- (2) 5/26~5/29に日本鉄道カトリックの会に神父様が出張され、留守当番は別途。5/28(日)の7時、9時の両方のごミサは、二俣川教会の鶴飼神父様か河野神父様があげて下さる予定。5/27(土)の夜のごミサは無し。
- (3) 「青少年の司牧」の課題(位田副委員長)  
・アンケート最終案がまとまり、関係者に確認中。

対象は、小、中、高生中心に約80名の予定。(大学生、社会人に対しては、別の問合せ予定) 4/16に出し終わって、4/30迄に集計する。  
・切手代等経費発生するが、教会予算で賄う  
・尚、4/23に大和教会にて、教会学校リーダー研修会が開催される。申込は4/11迄。  
(4) ご復活パーティは、例年通りの趣向とする。  
(5) 「聖歌の集い」のビデオが届いたので、御希望の方はどうぞ。

以上

### 壮年会だより

<4月23日(日) 8名出席>

- 1. 4月度委員会報告
- 2. 会費徴収の件

壮年会費(月200円)を会計事務処理を簡素化するため、1年分もしくは半年分にまとめて納入して頂きたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。また納入袋は近日中に会員の皆様に配布致します。

- 3. サロン担当者見直しの件

現在サロンの担当を位田氏、上野氏、甲斐氏、鈴木氏を中心にして、行われておりますが、もう2年近くやってもらっておりますので、見直しの時期に来ているのではないかと話しがあり、5月の定例会で再度話し合いしたいと思います。

- 4. 春のハイキングの件

4月29日(土)陣馬山へ。雨天の場合中止。

- 5. その他

末永氏に1月10日に女兒誕生。遅くなりましたがお祝いをさしあげました。

以上



今月の予定

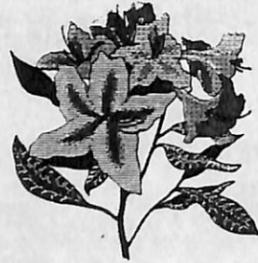
- 委員会 6月4日
- 聖霊降臨 6月4日
- 霊名祝日 6月29日
- サロン 6月11日, 25日
- レジオ 6月9, 16, 23, 30日

壮年会だより

<5月21日(日) 11名出席>

1. 5月度委員会報告
2. サロン担当者見直しの件  
話し合いの結果、  
第二日曜日：鈴木氏、萩原氏  
第四日曜日：七浦氏、橋氏  
が中心になってやっていただくことになりました。会員の皆様のご協力をお願い致します。
3. 青少年の問題に関して  
位田氏より中間報告あり。アンケート108通出して、回収率39.8%である。今後内容を検討していく。
4. クーラ設置の件  
ルームクーラーを寄付していただいたので有効活用したい。設置に関しては電気容量等の問題があるので、調査していくこととする。
5. 新連絡網を配布する。

以上



婦人会だより

<5月21日(日) 30名出席>

1. 委員会報告
2. 遠足の件  
遠足について最終確認しました。  
尚、24日(水)当日は天候に恵まれ、参加者31名 楽しい一日を真鶴で過ごしました。
3. お見舞いの件  
山中さんの病氣見舞いをしました。
4. スリッパの件  
げた箱にスリッパをおしまいになる時は、重ねないことになりました。
5. お掃除の件  
トイレが洋式になりましたので、便座掃除用に使い捨て雑巾(トイレクイックル等)を購入しましたので、それをお使い下さい。
6. 婦人同志会黙想会  
◆日時：6月29日(木) 9:00~  
◆場所：山手教会  
◆参加費：500円  
6月18日までに廊下の申込書に名前を記入して下さい。
7. バザー奉仕日  
6月は13日(第2火曜日)、28日(第4水曜日)
8. 古着交換会  
6月11日(日)9時ミサ後行います。  
今回の例会は 6月18日 当番はB地区です。

以上

五月四日と次の日

山崎 正俊

この頃、日を置かず、出掛けなければならなかった。私がいてもいなくても、なんの相異もないことならば、欠席させていただきたいという、一般的な許可を与えられていると勝手にきめていたので、どちらでもよかったのかもしれない。叙階式とか献堂式とかのことだし、お祝いを兼ねてのことだったわけでも、なんだか、疲れが重なっていた。

それでも、今度の集まりには、個人的なものだが、久方振りの、この次にはいつできるかというような「人生の恩人」との出会いとなれば、逃がせない機会でもあった。そのうえ、これまでは手紙のうえだけのことで、この恩師との関係を深める仲立ちをしてくださった「心の親しい友人」からの会いたいという知らせもあったので、その初めての出会いも大切なことに思えた。帰りの時間が遅れるなら、バスがなくなる心配もあったが、いくら遅くても、それぐらいの時間なら、時々、子供の出迎えをしているのです。駅まで車で出迎えてあげますというお言葉に甘え、前後のわきまもなく、出掛ける決心をした。

本当に有り難いことだった。神様におあとはおまかせしよう。「なんとかしてください」(はじめてのところなのに、会場には一時間もまえに着けた。帰途には雨が降っていた。私には雨具の用意がなかった。磯谷さんの傘に入れてもらった。それで、ヨコハマ駅には迷わずに着けた。かけかたのわからない電話

では、近くにいた見も知らぬ青年が代わってくれたので、わりにスムーズに通じた。自分だけだったら、こうはできなかったはずだ。神様は特別の御配慮をしてくださった。何はともあれ、有り難いことでした。

その次の日は、雲が厚く暗い、薄ら寒むの日であった。今日までの人生、最近は何をして生きているのかと、それを振り返っては、胸せまる痛みと空しさにサイナマレル。たしかに思われることは、そこにいるのが私であったからという、安心感を振り撒いていたところもあったようだが、私がもっとしっかりと学んでいたら、もっと値打ちあるものだったろうのに、それは、他のものを知らないための思い違いによるもので、他の人だったら、その人たちはもっと恵まれたものを与えられたら、どうにもならず、時は呼び戻せないのだから、償いのしようもなく、与えた災いは消しようもない。同じ間違いを繰り返さないこと、誠実に生きようとするより他はない。「ネエ。お願いです。不当な暴力や戦争の原因をなくすようにはしてください。」それを読む人の姿勢が大切なのです。聖書の中にイエズスさまのことは、きちんと明らかなのですが、思いやり深さと誠実さと、奉仕の精神は忘れないでください。イエズスさまは、そのために、私たちの仲間になってくださったのです。私たちは「だまって従う」こと、それだけを求められているのです。

お知らせ

- ◆ 山崎神父様の霊名の祝日(6月29日)のお祝いのため、霊的花束を集めます。7月7日にお渡ししますので、それまでに宜しくお願い致します。
- ◆ 事務所の部屋替え、模様替えをしました。FAXも移動し、新たにコードレス電話機を導入しました。



ミサ 当番表 (6、7月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	備考
6/4	聖霊降臨の主日	井上	大宮	7/2	年間第十三主日	橋	大宮	壮年会
6/11	三位一体の主日	青年会	岩淵	7/9	年間第十四主日	青年会	岩淵	青年会
6/18	キリストの聖体	婦人会 B地区	石川	7/16	年間第十五主日	婦人会 C地区	石川	婦人会
6/25	年間第十二主日	位田	森田	7/23	年間第十六主日	清水	森田	壮年会
				7/30	年間第十七主日	婦人会 C地区	大宮	婦人会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)



## 国産ビール事始め (2)

萩原 政弘

大阪では、明治二年にできた開商社が明治四年にビール醸造を計画し、アメリカ人ヒクナツツ・フルストを雇い入れました。結局、この計画は中断されましたが、開商社頭取並の渋谷庄三郎の努力で、ビールは五年には発売されたようです。また、京都府舎密局でもドイツ人ワグネルの指導で、明治十年にはビールを醸造しています。

北海道ではアメリカ種の大麦を栽培しましたがこの成績がよく、また、お雇い技師のアンチセルが岩内で野性ホップを発見したことから、明治五年にビール醸造を建言しました。そこでさきの大蔵省勸農寮の計画の後を受けて、ビール製造を始めることにし、当時ドイツでビール醸造を修得して帰国したばかりの中川清兵衛を主任技師として醸造工場を建設し、明治九年に醸造を開始し、翌十年には製品を東京にまで出荷しています。この中川主任技師は工場の設計から、機械設備の手配、設置などすべてを指揮して開業にこぎつけています。これが現在のサッポロビールの始まりで、そもそも、道産の材料を使い、物産振興という目的から始められ、また技師も日本人技師を使い、原料と技術の国産化という方針が創立時代から立てられていました。

このようにビール醸造所ができると、ここで技術を修得したものが醸造所を作り、あるいは企業家があるような技術をもっている者を雇って醸造業を始めるなど、数多くのビール醸造所ができました。

渋谷ビールで醸造を担当していた金沢嘉蔵は、渋谷ビールが明治十四年に休業となり、工場が貸し出されて浪花麦酒が製造される時にも主任技師として醸造を担当し、さらに橋本清三郎が機械設備を譲渡されてビール製造を始めるときも醸造技師を務め、小西儀助の旭ビール、渋谷氏のエビスビール、木村氏の浪花ビール、キマルビールなど関西の多くのビールは金沢嘉蔵が技術者として作ったか、あるいはその弟子が作ったものです。また甲府の野ロビールの技師だった横山助二郎は、その後大阪で日の出ビールを作り、大正二年まで輸出に大きな勢力を占めていました。明治二十一年手形ビールの醸造技師だった時、パリの万国博に出品するために、日本酒の火入れ技法を応用して加熱殺菌を独自で発明しています。日本に低温殺菌の技術が入ってきたのは明治二十一年に札幌麦酒株式会社のお雇い技師のドイツのマックス・ポルマンによってですから、横山技師の加熱殺菌ビールは世界的な技術開発だといえるでしょう。

こうして一時は100社前後のビールができました。中には他社が製造したビールを樽で買ってきて、自社のラベルを貼って出すようなものもあり、正確な数はわかりませんが、明治二十三年の内国勸業博覧会には「殆ト一二垂ナントス」るビールが出品される盛況だったようです。

おわり



## 春のハイキング

### 陣馬山へ行って

花坂 昌子



長後-町田-八王子。ここからバスで陣馬高原下まで、リーダー山田さんを含め5人の、登山の出発です。整備されたアスファルトの坂道を、一步一步、それは、とても苦しい道程でした。しかし新緑の木々が、目にしみ、空気もおいしく、小休止も、度々とって下さったりと、やっとの思いで、頂上近く辿り着きました。そこには山桜が、美しく咲き揃い、疲れた私達を迎えてくれました。

標高857m、頂上は、こじんまりと狭く、白い木馬が立ち、その見晴らしは、最高でした。山々にかこまれて、山桜の下での昼食も格別！山田さんが、お湯を沸かして、暖かいコーヒーを入れて下さり、寒さにふるえる私達を、暖めてくれました。

小休止の後、急な下山の為か、膝頭に力が入らず、がくがくふるえる、初めての経験でした。「膝が笑った。どうしよう！」心細さも皆が励ましてくれ、やっとなんて、茶畑へと下って、ほっとしました。

後は藤野駅迄、歌を唄いながら、歩き続けました。あんなに苦しい思いで登って来たのに、なんと清々しい、後味のよい事、思い切って参加してよかったと思っています。

## テレビ機敷

清水 聖



「ハッキョイ」、「ノコッタ」、「ノコッタ」

台所の家内より一寸「ボリュウム」が高いわよと声がかかる。いよいよ夏場所の幕開き、まばらな客先を尻目に若い力士がぶつかり合い、お互いに死力を尽くしている姿、小生一端の通ぶって其の辺の取り組みを見るのが楽しみである。其の中から将来の横綱、大関が生まれてくるのです。九度目の優勝を目指す、曙、貴乃花の両横綱に武蔵丸等三大関がどう絡むか、大関昇進がかかる安芸乃島の存在、先場所全休の武双山、琴錦の復帰も優勝争いを面白くしそうだ。しかしながら土俵に目を向けてみると最近では攻防のある相撲が少なくなってきた感じ。技能賞が四場所続けて該当なしということは、その一つの現れではないでしょうか。即ち小兵力士、舞の海、智ノ花、旭道山、寺尾、の活躍に期待をします。そもそも相撲に興味を持つ様になったのは、小学生低学年の時体操の時間校庭の砂場で良く相撲をとらされ、当時名大関と云われた清水川が活躍していました。小生苗字が清水、クラスの皆に清水川頑張れの声援を沢山貰ったのが始まり、戦前、戦後を通じ何度か本場所に出掛ける機会に恵まれました。昭和天皇の相撲見物(天覧相撲)には二回出会い、蔵前最後の場所には感激した記憶があります。平成元年九州場所十一日目から四百八十五日間も満員御礼が続き隆盛を誇っています。ちなみに私共夫婦其の満員御礼の記録に参加したこともあります。第一線をリタイアし、今はやりの在宅勤務となり、我が家のマス席四帖半、両国国技館より広いです。スクラップした番組表に赤のボールペンにて勝力士の醜名に〇印をつけています。幕の内二十番あり残り十番ごろ家内がビールとおつまみを、したり顔にて出前してきます。小生のテレビ観戦につられて、近頃家内も相撲に興味を持つ様になりました。取組の予想、個々の力士の将来性まで一角の評論家に負けない迷解説をする時もあります。

今場所は、おおかたの予想通り、曙、貴乃花の千秋楽対決となりました。本場所観戦の魅力に誘われますが、我が家のマス席テレビ機敷の観戦の醍醐味は格別と思います。

平成七年五月二十五日

## 委員会だより

<5月7日(日) 9名出席>

### [1] 財務報告:

5月度決算報告 ⇒ 委員会了承。

★”特別献金”の扱いで、いろいろ議論あり。今後、もっと良く考えていく。

### [2] お知らせコーナー:

- (1) 予防査察の件、前出工機(株)に依頼した調査書類が整備完了。消防署に提出(4/1)。
- (2) 浄化槽清掃の件、大伸興業(株)に依頼していたが、作業完了した(4/17)。
- (3) 横浜カトリックセンターで、4/23に教会学校リーダー研修会が開催され、中和田からは、石井委員、岩崎さん(婦人会)が出席した。テーマは「仲間づくり」で、また、心理適性テストもあって、楽しい内容であった。他教会からは青年達が多く出席していた由。
- (4) 本柳師の叙階式が4/29に戸部教会で挙行され、中和田からは山崎神父様、小谷氏、甲斐氏ご夫妻が参列された。戸部教会出身で叙階された神父様は、3人目の由。
- (5) 二俣川教会の献堂式が5/2に挙行され、

中和田からも、多くの方々が出席された。中和田からの祝金は、委員会決定の¥100,000と山崎神父様からの¥150,000を加えた合計¥250,000。

- (6) 日本ガス(株)に委託している、暖房器の元栓などの修理が継続中。
- (7) 一粒会の第5地区の会合が、5/24に大船教会にて開催される。小谷氏が出席予定。

### [3] お話し合いコーナー:

- (1) 旧集会室及び事務室のレイアウトの件: 電話機移設、並びにワイヤレス化の調査が進行中。
- (2) 「青少年の司牧」: アンケートの件 4/30のごミサ終了後、鈴木さんよりアンケートの主旨説明が行われた。アンケート締切は5/14。
- (3) 神父様の5/26~5/29日本鉄道カトリックの会出張の件: 留守当番表を掲示。
- (4) テントの購入の件: 婦人会からも寄贈の申入れを頂き、近日中手配予定。
- (5) その他: クリスマス飾り付け購入の件、石井、小山両委員で調査する。

以上



今月の予定

- 委員会 7月2日
- サロン 7月9日,23日
- レジオ 7月14,21,28日

委員会だより

<6月4日(日) 11名出席>

- 1] 財務報告:**  
5月度決算報告(甲斐さん)⇒委員会了承。
- [2] お知らせコーナー:**
  - (1) 一粒会第五地区会議の報告(小谷さん):  
・5/24 19:30~21:30、大船教会。議題は、1)指導司祭交替、2)神学生について加藤、林両神父様のお話、3)会則改定(案)審議等。  
・小谷さんより一粒会委員増員(会計担当の婦人委員)、教会予算執行、任期の提案。
  - (2) 第四回湘南キリスト短期セミナー:  
(5/13,20,27,6/3;片瀬,藤沢,茅ヶ崎,平塚教会共催)  
・甲斐さんから出席した印象の紹介があった。  
・色々なテーマがあったが、特に、横川氏(共同通信 論説委員)の「今、子供達が求めているものは・・・」が、家庭内暴力等具体的事件を通しての話で非常に良かったとのこと。(注:参加費は4回分で1,000)
  - (3) 山崎神父様が、5/26~5/29に日本鉄道カトリックの会にご出張。
  - (4) 5/24に電話機を代えた(コートレス)こと、及び応接室、集会室の模様替えの実施報告。
  - (5) 青少年問題アンケート集計中間報告:  
位田さんご出張中であり、更に煮詰めた上前回報告。尚アンケート回収率は、小学生 44.4%、中学生71.4%、高校生42.9%、大学生39.7%、大人39.7%で、総平均は、43.5%。
- [3] お話し合いコーナー:**
  - ・クリスマス飾り付け購入の件、石井、小山両委員の調査結果を検討。予算規模を100,000前後とし再度探すこととした。
- [4] その他:**
  - ・6/10に金沢教会で、来年度"聖歌の集い"の実行委員会を開催。石井さん出席予定。

壮年会だより

<6月18日(日) 11名出席>

- 1. 6月度委員会報告**
- 2. 卓球大会の件**  
実行委員として、宮崎、美底両氏を選出。日時は8月27日9時ミサ後。詳細は委員会、婦人会と打ち合わせ、決定。
- 3. 庭の手入れ**  
7月16日(日)の壮年会定例日に庭の手入れを行う。皆様のご協力をお願いします。
- 4. その他**
  - ・甲斐氏が6月25日 宣教委員会に出席。
  - ・テント一組購入で壮年会費から半額52,500円を支出させていただきます。ご了承下さい。

以上

婦人会だより

<6月18日(日) 25名出席>

- 1. 委員会報告**
- 2. 遠足の会計報告**
- 3. 伊藤さんのお見舞い、他**  
6/11に役員3人で行って来ました。  
小野寺さん入院。お見舞いは少し期間をおいてからお願いしたい由。お二人の一日も早い回復を願い皆様のお祈りをお願いします。
- 4. キリストセミナーへの出席報告。**
- 5. 神父様の霊名のお祝いに図書券を差し上げます。**
- 6. 古着リサイクルの件**  
売り上げが16,690円ありました。皆様のご協力有り難うございました。  
次回の例会は7月16日 当番はC地区です。

以上



そして、それから

山崎 正俊

イエズスさまは、後のものが先になると云って、選ばれた民どもの思い込みを改めさせようとなされた。だから、ペトロは教会の聖なるカシラになるはずですから、師のイエズスさまが、この世を去られたあとでも、まだ教えられねばならないことが残っていた。神様のコバを伝えに、その夢のなかに入り込んだ天使から、私が赦している人をおまえは何故に、そのように厳しくコバモウとするのかと、注意されなければならなかった。そうでした。神は差別をなさいません。寛大ですと云っては、その翌日に、異邦人のところに出掛けてゆくことになる。イエズスさまの教えを繰り返し教え、聖炙を受けさせ、異言を話すというような恵みを受けられる者をさえ出したのだ。異言というのは、わけのわからないワメキ声のことではなく、聞く者にその意味がわかるように神様のコバが伝わってゆく、話す本人は自分のコバで話しているのに、聞く人には使い馴れたいつものコバで聞こえるものなのだ。

聖パウロは、イエズスさまの十字架の上での御奉獻の功德によって、信ずる者は誰もが救われることになるキメツケで、選ばれた者の印・割礼への信頼など、コケにしたのでもないのに、そんなものの値打ちなど気にしなくてもよいと説明して、信徒の聖ペトロや聖大ヤコブらの支持をとりつけてしまう。そのために、信仰の先輩たちの多くからも生命をウバワレかねないような迫害を受けながらの、使命を貫くことになる。聖書では、そんなこと

はイエズスさまの御旨に反するからやめろなどは、半カケラも述べられていないと思うから、私は無学ながらも、伝統的な信仰に依っているらしい人々のまえに、堅く立ち続け、この聖パウロのコバがそれからあとの、あらゆるキリスト信者たちのためになる。誰にもどんなことになってもイエズスさまから離れられない、「神様と共にいる」という心の安らぎができる。

現教皇ヨハネ・パウロ2世は、あのイジワル枢機卿の鼻をあかすつもりでもなかったろうのに、敢えて宣言しておられる。さすがの日本の司教団も異論を御承知のうえの宣言をお出しになった。戦争は何も解決したことはないのだし、それが犯罪だということも隠しようがなく、弱い立場の者たちを傷つけるものであることも弁解のしようがないことは明らかだと、私も思う。この精神がはっきりしているので、聖パウロが聖ペトロと同じ日に記念されるのは、理の当然のことである。だから、イエズスさまの跡を行く者と云えるのは、たしかに、聖炙のお働きをとおして与えられているお恵みなので、私はそのまま従えばよいことになる。理屈ではなく、おこないによってだけ、まことに生きることになれるのだ。人々はそのおこないを見て、その教えが生命の与え主からのものであることを気付いて、そのところに、まことの平和が溢れるのか。これが人間の支配下にあるべきものと思われ違っている誤りを越えての、まことの「自然との共存」の実現への道となる。

お知らせ

- { 山崎神父様の霊名の祝日(6月29日)のお祝いとして、7月2日に霊的花束をお渡ししました。ご協力有り難うございました。
- { 新集会室と一階事務室にクーラーを設置の予定です。

ミサ 当番表 (7、8月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	備考
7/2	年間第十三主日	橋	大宮	8/6	主の愛容	山田	岩瀬	壮年会
7/9	年間第十四主日	青年会	岩瀬	8/13	年間第十九主日	青年会	石川	青年会
7/16	年間第十五主日	婦人会 C地区	石川	8/20	年間第二十主日	婦人会 委員	森田	婦人会
7/23	年間第十六主日	清水	森田	8/27	年間第二十一主日	小谷	大宮	壮年会
7/30	年間第十七主日	婦人会 C地区	大宮					

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)

鎖につながれた聖ペテロの教会

甲斐 至信

サン・ピエトロ大聖堂は教皇ユリウス2世の時代の1506年に再建が始まりましたが、この再建にたいへん縁のある教会を訪問しました。

ローマのコロッセオの近くにサン・ピエトロ・イン・ヴィンコリ教会(鎖につながれた聖ペテロの教会)があります。一見教会らしくない外観をしていますが、いつも教会前の広場には多くの人がつめかかっています。この教会を訪れる巡礼者は、二つの目的をもってきているはず。一つは、ペテロが囚われていた、ローマのマメルティーノ牢獄で使われていた鎖と、エルサレムの牢獄で使われていた鎖が奇跡によって一つに結ばれたという「聖なる鎖」に祈るためです。この教会はその「鎖」を祀るために5世紀に創建されました。鎖は聖遺物として主祭壇の下に納められています。

使徒言行録によれば鎖につながれたペテロを、天使が救い出したことを伝えています。ヘロデがペテロを引き出そうとしていた日の前夜ペテロは二本の鎖につながれ、二人の兵士の間に眠っていた。天使は眠っているペテロの脇腹をつついて起し「急いで起き上がりなさい。」と言った。すると彼の手から鎖が外れ落ちた。(12・6)

聖ペテロが捕らえられていたマメルティーノ牢獄の地下の独房には、小さな井戸があり、改宗しようとした看守たちにペテロは洗礼を施すために、この井戸から水を湧き出させたと伝えられています。

さてもう一つの目的がミケランジェロの彫刻の傑作「モーゼ」を見ることなのです。でも、この彫刻が完成するには、長い時間とドラマがありました。

訪問者が人垣を作っている場所が、右側廊の奥にあります。「ユリウス2世の廟墓」の前です。そこには等身の2倍はあろうかと思われる巨大な像が中央に座しています。訪問者の人垣の中には親しげにモーゼを見ている人がいます。皆さんご存じの映画「十戒」の主演俳優であるチャールトン・ヘストンがこのモーゼに似ているからなのです。

ところで、1506年教皇ユリウス2世は、フィレンツェで、「ダヴィデ」を完成して評判になっていた30才のミケランジェロをローマに呼び、40数体からなる古代ローマのものにも匹敵する壮大な廟墓建設を依頼しました。自分が生きている間に完成させたいものだと夢を描いていたのです。

ローマに招かれたミケランジェロは教皇の廟墓建設の話聞いて興奮し、早速、自らカッラーラ採石場に行き7か月も費やして大理石を選ぶほどでした。ところが、まもなく教皇の熱意は冷め、ミケランジェロが採石場からローマに戻ったときには、廟墓建設は中止されてしまったのです。

どうも、ミケランジェロの登場を歓迎しなかったブラマンテという芸術家が、教皇に余計な耳打ちをしたらしいのです。「教皇様、生きているうちにお墓をお造りになるなんて不吉でございます。」と代わりにサン・ピエトロ・大聖堂の再建という自分のプランを採用させたわけです。

ミケランジェロは教皇を説得しようと努めたが、失敗し、論争の結果、ローマを立ち去った。後年彼等は和解しましたが、ついに廟墓建設計画は着工されることなく、ユリウス2世は、壮大な夢を実現することなく世を去ったのです。

その後、教皇の遺族との、数限りない論争や、計画の変更などがあり、最初に計画を立ててから実に40年後、1545年、ミケランジェロが70才の高齢に達したとき、40数体のはずの像がわずかに三体となって計画は終わりました。そのうちの一体がこの教会のモーゼ像なのです。

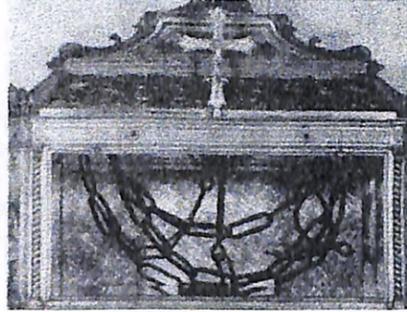
ミケランジェロの彫った人間像は、どれも、人間の内面までもよく現しているといわれますが、この教会のモーゼ像は最も優れたものの一つである。シナイ山頂で神から「十戒」を授かり、山から下りてきたとき、エジプトの国から導きのぼった民は墮落し、金の小牛を拝んでいるのを見て、モーゼは激しく怒った。この時の怒り、失望、うれい、などの激しい感情をミケランジェロは正確に大理石のなかに表現しているといわれます。伝説作家によると、彼は、完成した作品に向かって、「何故ものを言わないのか？」と言って槌でこのモーゼを叩いたと伝えられています。それほど、この晩年の作品に情熱をこめ、自信を持っていたのでしよう。



高さ2.35mの巨大なモーゼは右手で「十戒」が刻まれた2枚の石板を抱え、左手は自分の長い顎ひげをおさえています。大きな目を見開いて、いくらか眉間にしわを寄せた顔は左前方を凝視していますが、頭の上に短く突き出した二本の角が気になります。モーゼに角が生えている原因は、ラテン語訳のウルガータ版聖書の誤訳あるいは誤解にあっただけです。シナイ山から下りてきたときのモーゼの顔が「光り輝いていた」という部分の原語 "cornutam" という語は「光り輝く」とも「角の生えた」とも訳されたからだそうです。

キリスト教国では最大規模であり、また世界遺産として指名されたバチカンの中でも代表的な建造物である大聖堂が、ユリウス2世の廟墓建設中止という、ミケランジェロにとって心いたむ事件があって再建が実現したのです。ブラマンテの後を受けて、1546年に、71才の高齢のミケランジェロは大聖堂の主任建築家に任命されたのです。ローマの人達から、愛情をこめて「クポローネ」(大きな円屋根)と呼ばれている聖堂のドーム完成を半ばにして、1565年、90才の誕生日を数週間後に控えたとき、サン・ピエトロ大聖堂の再建を、生涯最期の仕事として彼は世を去りました。

自由時間に訪れた小さな教会に、大聖堂にかかわる意外な歴史がありました。



聖ザビエルの「奇跡の右手」

小野寺 功

もしかしたら年配の方はご記憶かと思いますが、昭和二十四年にフランシスコ・ザベリオの来日四〇〇年の記念祭が催され、その際ザビエルの「聖腕」が日本各地を巡礼したことがありました。

当時私は岩手師範学校(後の教育学部)の学生でしたが、戦後の混乱期のさ中で、カトリックについても全く無知で、どちらかといえば左翼学生の一入でした。

ある日、学生寮で新聞を眺めていたら「ザビエルの奇跡の右手盛岡に来る」といった記事が出ていて、白百合学園の校庭で記念ミサが催される予定とありました。私は今どき「奇跡の右手」などを信じている人達がいることが不思議でならず、一度そのごミサとその信徒達を見てみたいものだという好奇心が湧いてきました。

そこで当日誰にも相談せず、独り授業を抜け出して、盛岡市郊外の静かな上田街道を四十分程も歩いて会場に赴き、校庭を埋めつくした信徒達のはるか後方から、生まれてはじめてカトリックのミサというものに接しました。その内容は全くわかりませんでした。清純可憐な白百合の生徒達をはじめ、荘重な儀式と敬虔な信徒の姿には、なぜか深く心打たれるものがありました。

今考えてみると、初め私は無知のためその

「奇跡の右手」をバカにする気持ちで出かけていったのですが、無意識的に宗教を求めており、逆にそれは私の回心を促すザビエルのほのかな手招きだったような気がします。それからやがて上京して、大学一年の時イエズス会のボッシュ神父から洗礼を受けることになりましたが、神父様自身、ギムナジウムの頃ザビエルの伝記を読んで感動し、司祭となることを決意し、来日されたということでした。これも不思議な御縁と思いました。

—— 昨年八月南スペインを旅行した帰り路、ローマのヴィットリオ・エマヌエレ二世通りにあるジェズ教会に立ち寄る機会がありました。その聖堂内には聖イグナチオの遺骸と聖ザビエルの右腕が安置されており、何十年ぶりで親しくここで再会することができました。その時は、かつてのような傍観者としてではなく、同じ信仰をもつ者として深い祈りを捧げることができ、不思議な感慨を覚えました。

今日本は、オウム真理教の事件で、深層からゆれ動いていますが、今こそ日本は真の宗教、真の哲学を求めて自覚すべき時期に来ていると思います。そのことに触発されて、私の古い記憶が甦って参りました。福音の種子をいかに日本の大地に根づかせ大成させていくか。ザビエルの指がさし示すもの、まさにそれが私共の課題です。

一粒会

第五地区活動状況報告

委員 小谷 徳爾

- 1. 日時・場所 5月24日 19:30~1:30 大船教会
- 2. 出席者 加藤主任司祭、林指導司祭、藤沢教会、戸塚教会2名、中和田教会2名、大船教会、鍛冶ヶ谷教会 (他に片瀬、原宿教会が地区内小教区)
- 3. 主な議題
  - ① 会則案について 第7条 『毎月定額の献金』 ⇒ 『献金』
  - ② 中和田教会の活動報告に関し、下記をご評価頂きました。  
一粒会委員に若い武田さんがなって下さったこと  
毎年総会の時に一粒会の報告時間を設けていること
  - ③ 神学校についての話し (林司祭)
  - ④ 司祭招命についての話し (加藤司祭、林司祭)  
一粒会メンバーの祈りが大切な旨お話がありました。



## 委員会だより

<7月2日(日) 13名出席>

### [1] 財務報告:

- 6月度決算報告を了承。
- セミナー等参加する場合には、活動費の一環であるので、交通費を請求して欲しい。
- 事務用書類棚購入を了承(〜¥25,000)

### [2] お知らせコーナー:

(1)「聖歌の集い」準備委員会(6/10於金沢教会):  
次回「聖歌の集い」は来年2月開催。場所は、鍛冶ヶ谷教会、二俣川教会が候補。

(2)第5地区宣教委員会(5/25,大船教会)報告:

1)各小教区の青少年問題への取り組み:

片瀬教会:・土曜学校では、母親が先生になり、祈り、遊び、ハイキング等を行い、父親や兄弟と遊ぶ日を作った。

・中学生・高校生にバザーの企画を頼む。

・土曜学校に障害児を受け入れる。

・教会は学校ではなく、子供達の自由を出したい。教会らしい暖かい場所にしたい。

大船教会:ダウン症の子供達の運動会に、中高生が参加、協力した。---等々。

2)中和田教会から、青少年問題アンケートの中間報告を行った。各教会から多大な関心が寄せられ、次回報告が期待された。

3)「環境問題アンケート依頼」の件:

(注:宣教司牧評議会からの依頼)

・アンケート結果は、司教に答申される。

・教会と地域の関わりあいに関する内容であり、壮年会、婦人会に検討を依頼する。(注:既に中和田教会は、中田地区「さわやか運動」への参画、古着の協力等で地域活動に参加している。)

(3)テント代支払、6/19に完了(清水さん)

(4)山崎神父様の霊名祝日(7/2):霊的花束がたくさん集まった。

### [3] お話し合いコーナー:

(1)二俣川教会並びに花坂さん知人のクーラー寄贈:設置工事見積¥120,000(税別)⇒委員会了承(事務所及び新集会所1Fに設置)

(2)卓球大会(8/27):

・7/23に卓球大会準備委員会を開催する。  
メンバー:[委員会]清水、位田、花坂、井上

[壮年会]宮崎、美底

[婦人会]小山、(あと1名)

[シニア]中谷、の各氏

(3)敬老の日(9/15)の御祝い:

・日取りは、9/10(日)に決定。

・予算は¥100,000。昨年通り御絵にプリント

・プレゼント段取りは、石井さん、小山さん。

(4)夏期要理学校合宿:

・井上さん検討中(8月上旬予定;初聖体1名)

(5)その他:

カトリック全体の登録システム変更に伴い、信徒台帳づくり直し必要。

## 壮年会だより

<7月16日(日)>

皆様のご協力で、庭の草取りをしました。

## 婦人会だより

<7月16日(日) 29名出席>

### 1. 委員会報告

### 2. 宣教委員会報告(丸田さん)

### 3. 卓球大会準備委員選出

小山 利江さん、中町 扶美代さん、  
中谷 田鶴さん(シニア)

### 4. バザー

・食堂:カレー、みそおでん、草餅、紅茶、ケーキ  
・委託:クッキー、ドロ様ソーメン、お茶、その他

9月に入ったら古着、新品をお持ち下さい。

5. オムツ縫い奉仕日は、毎月初金後の土曜日になります。8月はお休みです。

### 6. いのちの電話コンサート

「デューク・エイセス」前売り券 ¥3,800。

その他委員会への希望として有意義な意見が交換されました。

8月例会は休み 9月当番はD地区です。

以上



## お知らせ

{ 卓球大会 8月27日(日) 9時御ミサ後、地区センターにて。終了後教会にて懇親会。

申し込みは、8月13日(日)までです。ふるってご参加下さい。

{ 洗礼 6月25日 テレジア 森脇 留美

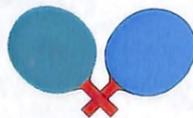
7月23日 ヴィアンネー 肥喜里 岬 (95.5.18 生)

{ 転入 ペトロ 肥喜里 洋二 (百合子)

泉区上飯田町1318 アーバンフラット201 Tel. 805-1232

フランシスカ 高野 薫 (青年)

泉区和泉町6247-17 Tel. 803-6525



## 今月の予定

聖母被昇天 8月15日  
要理学校合宿 8月4, 5日  
卓球大会 8月27日  
サロン 8月13日



## 第206回

カトリック中和田教会

広報委員会発行

泉区 中田町 2701

Tel. (045) 803-6141

1995年 8月6日



## そして、それから ②

山崎 正俊

◎ 旅の途中で、イエズスさまは、マルタとマリアの家におたちよりになりました。マルタは、大喜びでお迎えしました。ところが、マリアのほうは、そのおかたべったりで、そのおそばに座りこみ、お話を聞いているだけ。姉の手伝いをするなど、すっかり忘れていたようです。私もお話を聞きたい。イライラがついて、すこしぐらいは手を貸してくれてもよさそうなものではないかと、イエズスさまにお願いしようとする。(私も当然のことだと感じますのに)、イエズスさまのほうは、ちがった判断をなさいます。マルタには、「何をカッカとしているのか」とおしかりのおコトバです。それで、その聖心の深さがわからないままに、見当はずれのような解説にあきれて、無理して読み過ごすのです。聖書は、神様の英知が述べられているのですから、誰が見ても同じもののはずですが、言葉が足りないのでしょうか。マルタには、どのような反省をすることができるのか、イエズスさまの聖言葉の意味が感じ取れないので、その胸の痛みと悩みをあれこれとオクソクするのあまりに、顔をそむけることにさえなるのです。

◎ 聖ペトロも聖パウロも、本人たちの思いを超えた賛美を献げられているだけに、誰からも、その悩みを察していただけない。察してもらえたところで、何の得にもならないうえに、満たされもしない。ただ、忙しいことになっているだけのように見える。イエズスさまについては、私のような者のトヤカク云えることではないのだから、それは別としても、聖コルベ神父などへの賛歌は何のイミがあるのか。御

本人には、当惑があるだけではないのか。そんなものを受けたいので、身代わりの死を申し出られたのでも、どうせ近いうちにそうなるはずの、此の世のおさらばになる日を早めたかったのでもなかったはず。そうしなければならない。いまこそが、その時なのだと感じられたので、そのまま、前に進み出られたのだろう。ナチスの将校は、一瞬の迷いのあとの即断で、好きにさせたのかもしれない。あの大阪の大司教の決断は、此処にいる此の私のしなければならぬこと、此の私にできることは、此の他にはない。普通なら、すぐさまのゴウゴウたる非難と排斥とが起こるはずなのにそのことはなく、そのまま受け入れられ、実現して行くとは、まことに有難いことと云える。

◎ あれは先人たちの犯罪のツグナイを果たせる順番のところに、私が出たということだった。何かをすれば、二通りの極端な結果と、その間の数え切れないほどの複雑な問題が続いて割り込み、其処にいるおかたのうえに、そのツグナイの責任がかかる。私は其の間の中継ぎの易しい役を誠実に果たそうとしている。思いがけなく、遠くは新潟や東京からの大きな感動の波が返って来たのは、神のよきお計らいなのでしょう。とにかくもい仲間たちは、近くにも遠くにも現れつついて、「カミの悲愛」も、「ホトケの慈悲」も、お近付きとなられたようです。なにもかもですね。

(1995.7.23)

甲斐 至信

「♪ Good morning to you. Good morning to you. -----

みなさんお早ようございます。元気ですか。よく眠れましたか。」-----  
巡礼地への訪問は、朝一番、バスのなかでのハヤット神父様のご挨拶から始まります。

今日はローマからバスでゆっくとアッシジへまいります。ローマでの最後の巡礼です。  
清貧に生き、花を愛し、鳥を愛し、自然を愛した、聖フランシスコが創立した修道会の本拠地であり、宗教美術の最高のものが集中しています。  
バスで3時間半、田園地帯を眺めながら、途中の休憩では、イタリアのコッテリとしたコーヒー「カプチーノ」を味わったり、みどり豊かな風景をカメラにおさめたり、車中ではハヤット神父様からフランシスコの物語を聞かせて頂くなど、バス旅行を楽しみながらの訪問でした。

アッシジはイタリア中部のウンブリア州にあり、古来から「緑のウンブリア」と呼ばれ自然の美しいところで、適度な起伏のある丘陵、広い谷間、ポプラなどの風景が心にやすらぎを与えてくれます。  
ローマからの鉄道が、フォルシーニョでローカル線になって、アッシジに向かいます。短い電車が見えかくれしながら、のんびりと走り、広い田園風景のなかにすい込まれていくのが眺められます。  
やさしい自然と、すがすがしい澄んだ空気と、祈りの鐘の音のせて流れる風。アッシジの自然には、こよなく自然を愛した聖フランシスコの存在を身近に感じます。



緑に囲まれた、聖フランシスコ修道院(手前)と大聖堂

聖フランシスコ大聖堂

教皇グレゴリウス9世は、1228年7月16日フランシスコを列聖すると、翌日には聖堂の建設を開始しました。1230年まず下層バジリカが早くも完成し、5月25日聖ジョルジョ礼拝堂に眠っていた聖フランシスコの遺骸が厳かにうつされました。  
教皇は1230年4月この教会をフランシスコ会の「母にして長」と定め、教皇の特別の庇護の下に置くことにされた。そしてフランシスコ会本部がここに設置されたのです。1236年鐘楼と上層バジリカが完成し、その後2世紀に及ぶ改装工事を重ねた結果、フランシスコ会の大修道院と大聖堂が完成し現在の姿となりました。

聖フランシスコの墓と遺骸

死後4年間ジョルジョ礼拝堂に眠っていた聖者の遺骸は中央祭壇の下におさめられましたが、1442年ペルージャ軍との戦いによって、アッシジの町は放火破壊され、遺骸は彼らによってアッシジから持ち去られようとした。シスト4世は墓室に通じる地下道を埋めつくし墓を完全に閉ざしてしまい、フランシスコの遺骸を敵の手に渡すことなく守ったのです。  
しかし、その後墓に詣でるために、数百年のあいだ何度も通路を開ける試みが行なわれたが、成功せずやと1818年に自然岩のなかに鉄格子に囲まれた石棺が発見され1820年ピオ7世は、遺骸が聖フランシスコであると確認し教書をもって宣言されました。墓所は1926年から6年の歳月をかけ、大聖堂の地階に荘厳で簡素な現在の姿につくりかえられました。  
聖者のそばには、最初から彼につき添った4人の修道士マッセオ、アンジェロ、ルフィーノ、レオーネも一緒に眠っています。  
墓前には、イタリア各地から毎年交替で献納される油が、いつも絶えることなく灯されているのです。

下層バジリカの壁画

大聖堂は、精神と絵画と建築が見事に一体化されているとして世界的に有名で、イタリアゴシック芸術の典型と言われています。内部には聖者にまつわる芸術作品が豊富です。フレスコ画(65)ステンドグラス(16)木彫(6)石彫・テラコッタ(2)モザイク(1)ブロンズ(2) などなど、ここは大聖堂でもあり、中世美術の殿堂でもありましょうか。



祭壇に向かって右の壁面が『キリスト受難伝』として「聖衣剥脱」「キリスト磔刑」「十字架降下」「聖母の嘆き」「復活」そして、左の壁面は『フランシスコ伝』として「父との決別」「イノケンティウス3世の夢」「小鳥への説教」「聖痕の奇跡」「フランシスコの死」など13世紀中葉にウンブリア地方で活躍した、「聖フランシスコの画家」たちの作といわれる壁画が身廊を飾っています。

祭壇を中心とした翼廊にはロレンツェッティの「夕映えの聖母」チマブエの「玉座の聖母子とフランシスコ」マルティナーニの「聖フランシスコ」「聖女キアラ」「ハンガリーの聖女エリザベト」と、まさにここだけでも、一つの絵画館にも匹敵します。甘美で明るい色調、高貴な容貌と細長い眼など14世紀のシエナ派の巨匠たちによる、特徴のある壁画が数多く描かれています。

第4回 おわり



小谷 徳爾

ろへん こたつ いす  
○ 炉辺談話、炬燵談話、今は、椅子談話かもしれません。中和田教会では、素晴らしいサロン談話が出来ます。黛さんの、題名のない音楽会、etc. おしゃべりができます。  
楽しい語らい、これほど人生幸せを感じることはないと思います。  
第2、第4、おいしいコーヒー、紅茶を頂き、入口に、満席、両国国技館のよう、いつも満員御禮の札が出るのではないかと思いますのは私だけではないでしょう。

○ 主日ミサにあずかり、私は、聖書と典礼を頂いて帰り、表紙の絵画を見ることが楽しみなのです。去年、つまり1994.8.15、聖母の被昇天、ロシア、トレチャコフ美術館、13世紀、11月20日の王であるキリスト、ドイツ、ミュンヘン教区図書館、6世紀、12月25日の主の降誕、夜半のミサ、ドイツ、ケルン、シュニョットゲン博物館、1140年頃、で、今年、1995.1.1、神の母聖マリア、フランス、シャルトル大聖堂、12世紀、ステンドグラス、1月8日、主の公現は、ギリシャ、アトス修道院、14世紀、そして、4月16日の復活の主日、ドイツ、ケルンで作られた朗読福音書、12世紀、5月28日、主の昇天、ドイツ、国立バイエルン博物館、11世紀 でした。

○ 私が常々尊敬する機甲師団整備隊、つまり修理を一切引き受ける病院であり、その院長とも云うべき方、隊長です。平成5年に米寿を迎えられました。昔は昔、今は今と、割りきられ「ビルメンテナンス業界」にとび込まれました。給料は安い、人の嫌がる仕事、だが性

に合ったと、プライドをすて、40~60代曲者揃いの「オッサン」「オバサン」相手に30有余年頑張った。大阪新住友ビル、「ロイヤルホテル」初代整備主任は俺だったなあーと。健康法は、それぞれ適性はあるだろうが、身体を動かすこと、おいお茶!! おい新聞では駄目!! アルバイトでもなんでもいい働くこと。本当の歳を云えば、どこも使ってくれないから70才で通してたが、やや難聴から時に「へま」もやらかしたが、お役にたつてると思うこと、睡眠8時間をとる、転ばないこと(骨折し易い)、風邪をひくな、万病のもとになる、そうして、目標! あと何年、百歳だと、年とったでなく、希望をもつことだよ。

○ 百科事典を見ますと、ロマネスク美術、ローマ時代から伝襲した諸要素を復活、新様式を構成した美術及び建築の意味と。典礼と聖歌で見る表紙を見て、拙庵でひもどく辞典、この贅沢な美術鑑賞をさせて頂いてます。ダンベル運動とか、散歩の日課など一切行わないで、箒をもって公道近所を、塵埃取り鋏(ごみとりばさみ)で、「あなたのポイ投げ、日本が汚れる」とか、運動清掃、自作自演しております。

むだばなし 無題談話!! もう一度ご自分の身近かをごらんになっては、きっと、すごい発見をなさるでしょう。

以上。



ミサ 当番表 (8、9月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	備考
8/6	主の受難	山田	岩淵	9/3	年間第二主日	七浦	岩淵	壮年会
8/13	年間第十九主日	青年会	石川	9/10	年間第二三主日	青年会	石川	青年会
8/20	年間第二十主日	婦人会 委員	森田	9/17	年間第二四主日	婦人会 D地区	森田	婦人会
8/27	年間第二十一主日	小谷	大宮	9/24	年間第二五主日	富田	大宮	壮年会
				10/1	年間第二六主日	小野寺	岩淵	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: TEL 802-6258)